令和　8年　11　月　吉日
学校法人ノートルダム清心学園
清心中学校清心女子高等学校
校　長　松沢克彦（公印省略）

令和８年度ＳＳＨ授業研究会について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本校は、平成 18 年よりＳＳＨ研究指定を受け、女子の理系支援を促すためのカリキュラム研究、各種の研修や課題研究などさまざまな事業に取り組んで参りました。現在第 4 期の指定を受け、さらに生徒の主体性を育み、深い学びへと導く手法について研究を進めております。このたびＳＳＨ事業として、本校で研究開発している SSH 学校設定科目について研究授業を行います。つきましては、校務ご多用のこととは存じますが、多数の皆様にご参加いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

記

１．日 時　令和 8 年 12 月 14 日（月）13:00 ～ 15:50

２．場 所　ノートルダム清心学園 清心中学校 清心女子高等学校

３．時 程　12:30～13:00 受付 会議室棟２階
13:00～13:15 全体会（会議室棟２階会議室）
13:20～14:05 ５限 研究授業①　「SS 課題研究基礎」「データサイエンス入門」
14:15～15:00 ６限 研究授業②　「SS 課題研究基礎」「アートサイエンス」
※「SS 課題研究基礎」は①②とも異なるクラスでの実施ですが授業内容は同じものです。
15:10～15:40 研究協議
15:40～15:50 閉会行事

４．参加形式　来校（交通費自己負担）

５．申込み　右の QR コードから必要事項を入力してください
参加申込書に必要事項を記入し、FAX で送信する、または同内容を下記のメールにお送り下さい。本校 SSH ホームページ（https://www.nd-seishin-ssh.com/）の入力フォームからの受付も行っております。

申込〆切：12 月 7 日（月）

６．連絡先　清心中学校 清心女子高等学校　Tel：086-462-1661　　Fax：086-463-0223
E-mail：tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp　（担当 田中）

本校の第４期 SSH では、「次世代を担う科学技術系女性人材を育成する教育デザインの開発」をテーマに、課題研究を核として、生徒が主体的に学ぶ教育課程の開発に取り組んでいます。生徒一人ひとりが自ら問いを見いだし、科学的な根拠に基づいて考察を深めるとともに、他者と協働しながら課題の解決に取り組む力の育成を目指しています。
本授業研究会では、課題研究の遂行に必要なスキルの育成に主眼を置き、３つの研究授業を実施します。授業の公開と研究協議を通して、生徒の主体的な学びを支える指導の在り方や、日々の授業で培う力を課題研究へとつなげるための工夫について、参加者の皆様とともに考えを深める機会にしたいと考えております。

【研究授業概要】

●SS 課題研究基礎（高 1）　担当：黒田聖子

テーマ：生態系の作用と環境形成作用を観察から考える

概要：SSH 学校設定科目「SS 課題研究基礎」は、国語・数学・理科の教員が連携し、2 年次以降の課題研究に必要なデータ処理・記録・レポート作成等の基礎スキルを身につける科目です。本時（理科担当）では、体験を通して研究に必要な『観察眼』を養うことを目的とします。

事前学習でグラフィックレコーディング（グラレコ）の手法を修得した生徒たちが、校内の植物観察を実施。本時では野外での実地観察を通じ、生態学の基本概念である「作用」および「環境形成作用」について観察を通して、思考を深めます。

図鑑や教科書を見るだけでは気づきにくい植物と環境の相互関係を考えます。

●データサイエンス入門（高 2 生命科学コース）　担当：坂部高平

テーマ：家計調査で見る相関関係と因果関係

概要：SSH 学校設定科目「データサイエンス入門」は、課題研究を進めるために必要とされる情報機器や情報通信ネットワークなどの情報技術を適切に活用したデータ処理能力を養う科目です。

本授業では、相関関係と因果関係の違いや「擬似相関（見せかけの相関）」の概念を深く理解することを目的とします。

生徒は Chromebook で Google スプレッドシートを操作し、e-STAT から得た「家計調査」の実データを可視化・分析します。一見強い相関を示すデータに対して「本当に因果関係があるのか？」と問い、背景にある「第 3 の変数（交絡因子）」の推測・検証を促します。

データを鵜呑みにせず、背景にある要因を批判的に考察し、根拠を持って真の因果関係を説明できる実践的なデータリテラシーの育成を目指します。

●アートサイエンス（高 2）　担当：田中福人

テーマ：色を塗らずに、色をつくる　― 光の干渉とレーザー加工による構造色の探究 ―

概要：SSH 学校設定科目「アートサイエンス」では理工×芸術をテーマに授業を行っています。

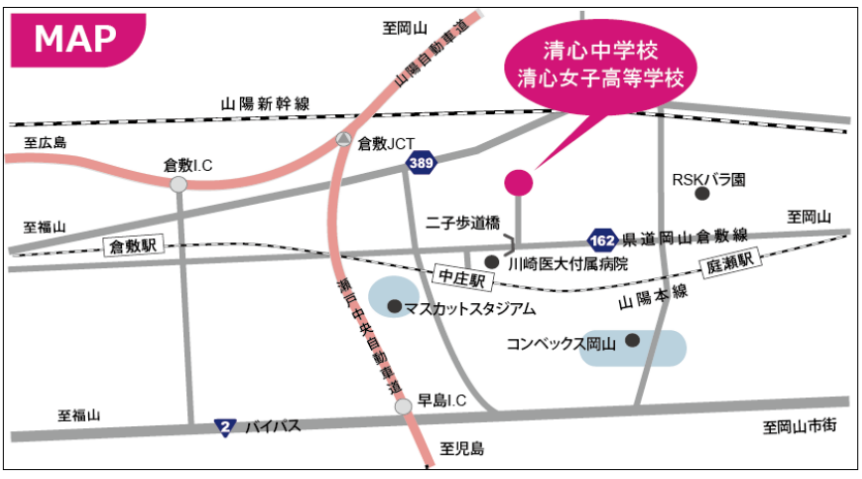
本授業では、光の反射や干渉によって生じる「構造色」に注目し、ステンレスへのレーザー加工による発色現象を題材に、光と色の関係について探究します。まず、独自に開発したシミュレーション教材を用いて、酸化膜の厚さや光の入射角によって色が変化する仕組みを視覚的に理解します。さらに、レーザーの出力や加工速度などの条件と発色の関係について仮説を立て、実際の加工結果と比較・検証することで、科学的な思考力を養います。

科学的な原理の理解を芸術的な表現へとつなげ、理科と芸術を融合した探究活動を通して、科学的思考力と創造力を育む授業を目指します。

【本校へのアクセス】

・倉敷インターチェンジから岡山方面に10～15分（校内に来客者用の駐車スペースがございます）

・ＪＲ中庄駅からタクシーで１０分



［別紙様式］

ノートルダム清心学園清心中学校・清心女子高等学校

令和８年度SSH授業研究会 参加申込書

学校 （所属）	学校名： （所属名）
	ＴＥＬ：

職　名	参　加　者　名	教科	研 究 授 業（参観希望に〇をお付けください） ※複数回答可
	代表者 E-mail （　　）		（研究授業①） SS 課題研究基礎　・　データサイエンス入門 （研究授業②） SS 課題研究基礎　・　アートサイエンス
			（研究授業①） SS 課題研究基礎　・　データサイエンス入門 （研究授業②） SS 課題研究基礎　・　アートサイエンス
			（研究授業①） SS 課題研究基礎　・　データサイエンス入門 （研究授業②） SS 課題研究基礎　・　アートサイエンス
			（研究授業①） SS 課題研究基礎　・　データサイエンス入門 （研究授業②） SS 課題研究基礎　・　アートサイエンス

12 月 7 日（月）までに QR コード、Fax または E-mail でお申し込み下さい。

Fax：086-463-0223
E-mail：tanaka-fu@nd-seishin.ac.jp